

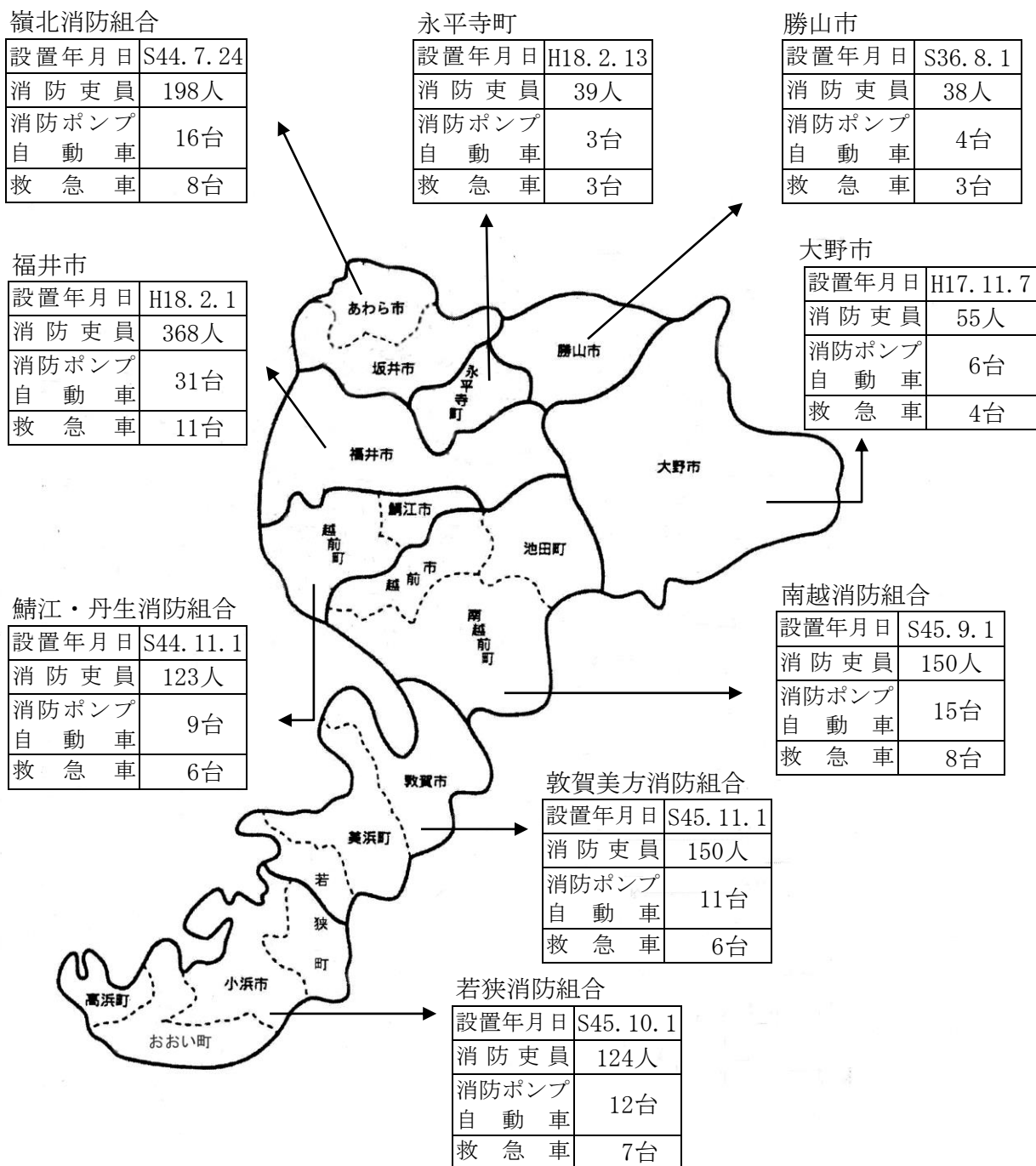
消 防 編

---



# 第1章 消防の概要

## 第1表 福井県常備消防体制(令和3年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和3年1月1日現在）		4,190.52	km <sup>2</sup>	
平成27年国勢調査（確定値）人口		786,740	人	
推計人口（令和3年4月1日現在）		763,185	人	
推計世帯数（令和3年4月1日現在）		291,783	世帯	
65歳以上高齢者数（福井県の推計人口 令和2年10月1日現在）		233,076	人	
高齢化率（ " " ）		31.0	%	
地域別人口	福井坂井地区（平成27年国勢調査 確定値）	404,796	人	
	奥越地区	57,234	人	
	丹南地区	184,783	人	
	嶺南地区	139,927	人	
令和2年火災状況	火災件数	171	件	
	うち	建物火災件数	101	件
		林野火災件数	1	件
	建物焼損面積	8,998	m <sup>2</sup>	
	林野焼損面積	5	a	
	損害額	588,667	千円	
	うち	建物火災	543,277	千円
	死者（自殺者数内数）	11（2）	人	
負傷者	31	人		
出火率（人口1万人に対する出火件数） ※人口：令和2年3月31日現在		2.20	件	
令和2年救急状況	救急出場件数	26,253	件	
	うち	急病	16,352	件
		交通事故	1,851	件
		一般負傷	4,356	件
搬送人員		24,822	人	
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3	
		単独設置町	1	
		消防一部事務組合	5	
	消防署数		19	
	出張所数		27	
	消防職員	消防吏員	1,245	人
その他の職員		23	人	
合計		1,268	人	
消防団	消防団数		18	
	分団数		238	
	消防団員	非常勤団員数	5,874	人
		常勤団員数	—	
合計		5,874	人	

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団		
	普通消防ポンプ自動車		52 台	135 台		
水槽付消防ポンプ自動車		23 台	—			
はしご付消防ポンプ自動車		12 台	—			
屈折はしご付消防ポンプ自動車		2 台	—			
大型高所放水車		1 台	—			
泡原液搬送車		2 台	—			
化学消防自動車		15 台	—			
指揮車		20 台	—			
小型動力ポンプ付積載車		—	201 台			
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)		27 台	98 台			
広報車		30 台	—			
資機材搬送車		27 台	—			
屈折放水塔車		0 台	—			
救急自動車		56 台	—			
救助工作車		15 台	—			
その他の車両		41 台	—			
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,765 個		
		私 設		98 個		
	防火水槽	100m <sup>3</sup> 以上		120 基		
		60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満		142 基		
		40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満		4,894 基		
		20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		487 基		
	井戸	公 設		80 個		
		私 設		—		
そ の 他				573 個		
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		67 局	
			移動局		1,091 局	
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局		28 局
				同報受信設備		25,845 局
		移動無線	基地局		15 局	
			移動局		671 局	
		県	固定系	地上系		28 局
				衛星系		69 局
	移動系	基地局等		19 局		
		移動局等		222 局		
	テレビ監視装置				2 基	
	火災報知専用電話				103 回線	
消防電話				224 回線		

## 第2章 火災の実態

### 1 概況

令和2年中の火災発生件数は171件、死者11人、負傷者31人、損害額5億8,866万円、焼損棟数152棟、り災世帯数70世帯、り災人員180人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日161万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成25年中が最も多く、平成29年中が最も少ない。

### 2 出火件数および損害額の状況

#### (1) 出火件数

総出火件数は171件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が101件で全体の59.1%を占め、車両火災32件(18.7%)、林野火災1件(0.6%)、船舶火災1件(0.6%)、その他火災36件(21.0%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が42件(41.6%)で最も多く、次いで工場11件(10.9%)、複合用途(特定)10件(9.9%)、共同住宅6件(5.9%)、併用住宅3件(3.0%)、物品販売店舗等3件(3.0%)、事務所3件(3.0%)、その他23件(22.8%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、6月の発生件数が25件で最も多く、7月が5件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

#### (2) 損害額

損害額は5億8,867万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が5億4,328万円で全体の92.3%を占め、次いで車両火災約3,643万円(6.2%)となっている。火災1件当たりの損害額は約344万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、9月の損害額が約2億7,824万円で最も多く、7月が約191万円で最も少ない。

### 3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではこんろが最も多く14件で8.2%を占め、次いで、たばこ10件(5.8%)、電気機器10件(5.8%)、火入れ9件(5.3%)、電灯電話等の配線8件(4.7%)などとなっている。

#### 4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒・窒息が5人、火傷が4人、自殺が2人となっている。

また、令和2年中の死者に占める高齢者は7人で全体の約6割となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単位	令和2年 (A)	令和元年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0.47	0.47	0.00
損 害 額	万円	161	285	△124
焼 損 棟 数	棟	0.42	0.42	0.00
り 災 世 帯 数	世帯	0.19	0.24	△0.05
り 災 人 員	人	0.49	0.54	△0.05

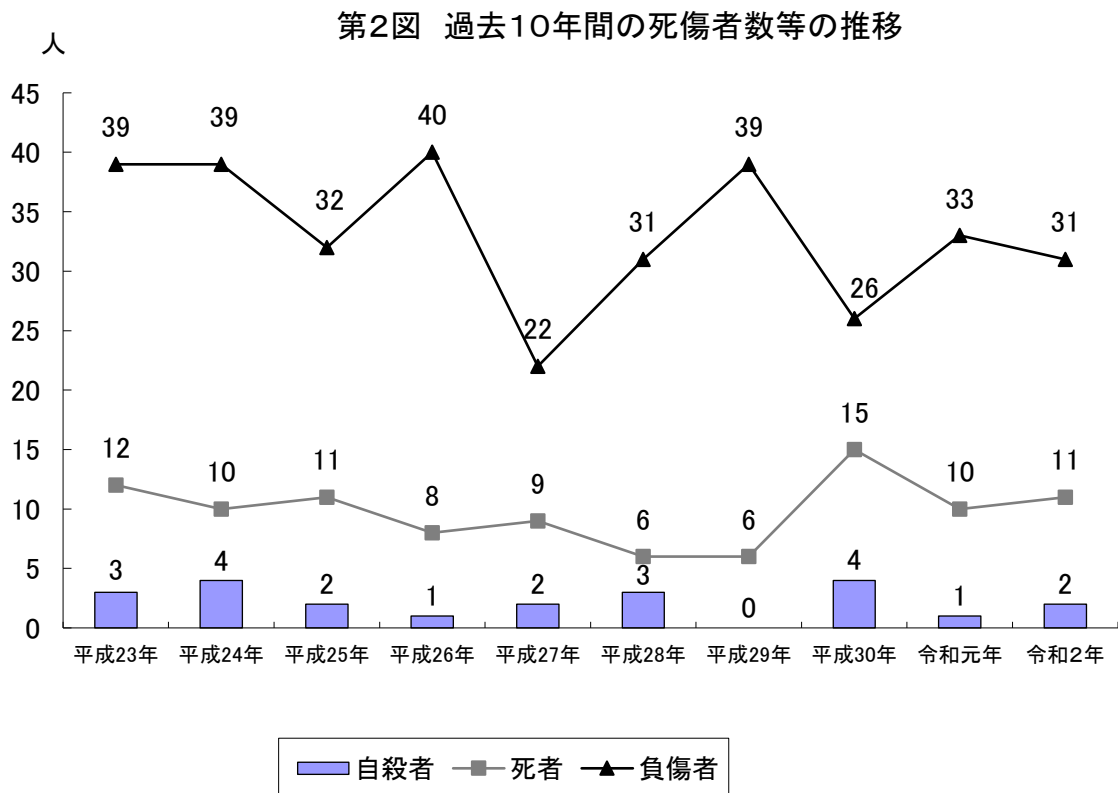
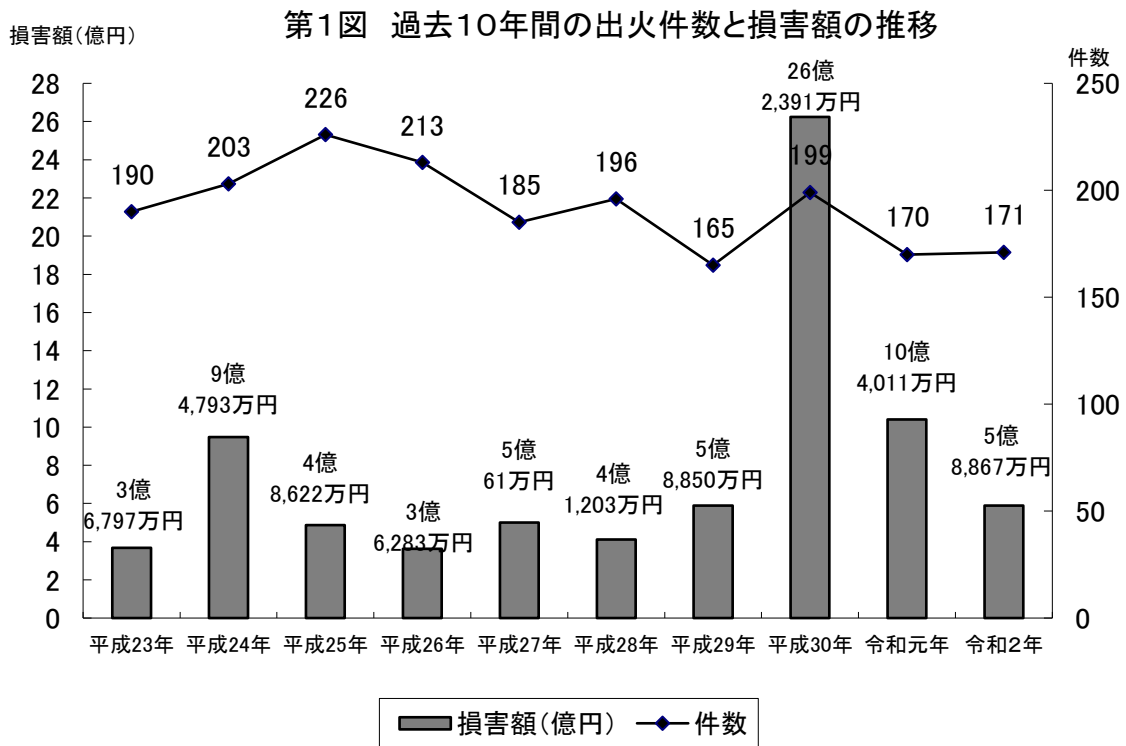
第2表 令和2年火災発生状況と前年比較表

区 分	令和2年(A)	令和元年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	171	170	1
建 物	101	103	△ 2
林 野	1	4	△ 3
車 両	32	34	△ 2
船 舶	1	0	1
そ の 他	36	29	7
焼 損 棟 数 ( 棟 )	152	155	△ 3
全 焼	36	36	0
半 焼	9	9	0
部 分 焼	47	42	5
ぼ や	60	68	△ 8
り 災 世 帯 数 ( 世 帯 )	70	86	△ 16
全 損	19	20	△ 1
半 損	5	7	△ 2
小 損	46	59	△ 13
り 災 人 員 ( 人 )	180	197	△ 17
建 物 焼 損 面 積 ( m <sup>2</sup> )	8,998	11,009	△ 2,011
林 野 焼 損 面 積 ( a )	5	30	△ 25
損 害 額 合 計 ( 千 円 )	588,667	1,040,114	△ 451,447
建 物	543,277	1,008,998	△ 465,721
林 野	3	310	△ 307
車 両	36,434	22,567	13,867
船 舶	0	0	0
そ の 他	8,953	6,066	2,887
爆 発	0	2,173	△ 2,173
死 者 ( 人 )	11	10	1
( ) は 放 火 自 殺 者 内 数	(2)	(1)	1
建 物	9	9	0
林 野	0	0	0
車 両	1	1	0
船 舶	0	0	0
そ の 他	1	0	1
(1)	(1)		1
負 傷 者 ( 人 )	31	33	△ 2
建 物	19	25	△ 6
林 野	0	0	0
車 両	3	4	△ 1
船 舶	1	0	1
そ の 他	8	4	4
出 火 率 <small>(人口1万人に対する出火件数)</small>	2.20	2.17	

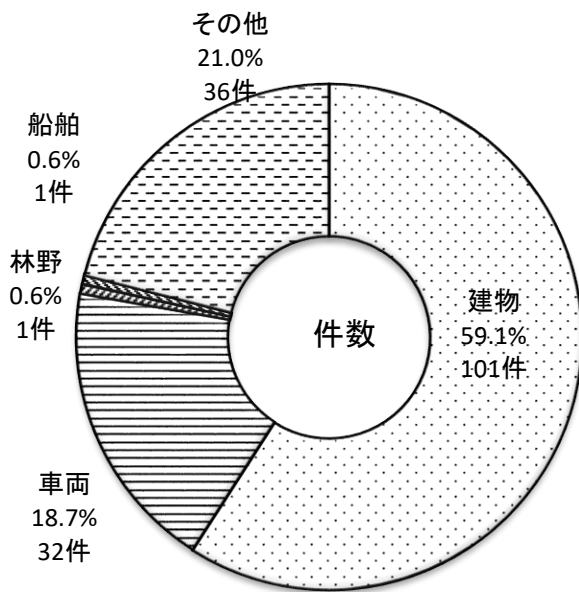
令和2年人口：令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

令和元年人口：平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口による。



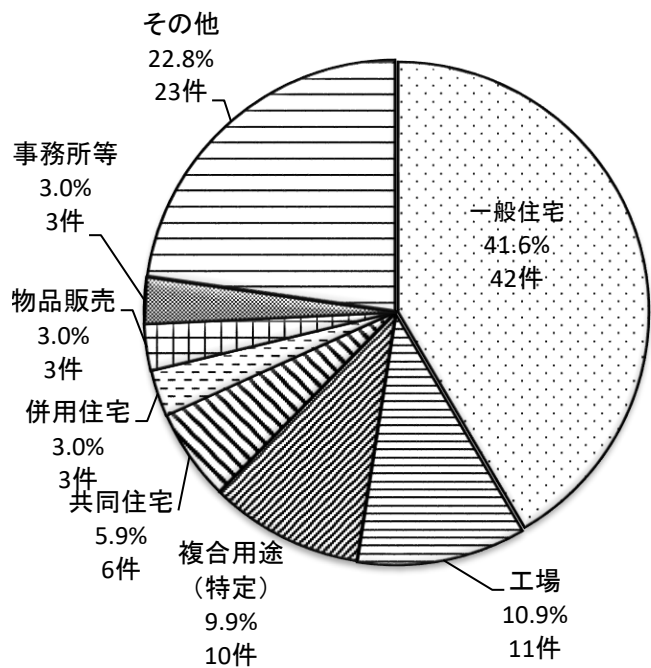


第3図 火災発生件数の内訳



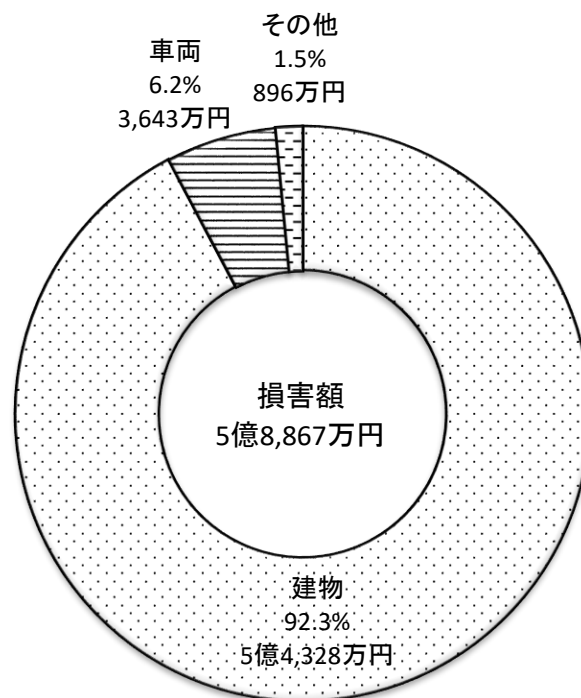
□建物 □車両 □林野 □船舶 □その他

第4図 うち建物火災件数の内訳



□一般住宅 □工場  
 □複合用途(特定) □共同住宅  
 □物品販売店舗等 □事務所等  
 □その他

第5図 損害額の内訳



□建物 □車両 □林野 □船舶 □その他 □爆発

第3表 令和2年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)					焼損棟数(棟)				焼損面積		り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人)	内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)									
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)	合計					全	半	小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	14	9	0	4	0	1	12	3	1	3	5	792	0	3	0	1	2	4	1	(0)	2	44,978	23,358	0	13,999	0	7,621	0
2	14	11	0	1	0	2	13	2	1	6	4	535	0	6	3	0	3	13	1	(0)	3	22,231	21,365	0	589	0	277	0
3	18	12	0	2	0	4	29	10	3	10	6	1,813	0	16	6	2	8	35	2	(0)	3	56,628	55,601	0	584	0	443	0
4	13	8	0	1	0	4	18	5	0	6	7	737	0	12	4	0	8	38	0	(0)	5	62,800	62,789	0	11	0	0	0
5	12	7	0	5	0	0	10	1	0	5	4	142	0	6	0	0	6	21	0	(0)	2	2,447	2,290	0	157	0	0	0
6	25	9	0	2	0	14	9	2	0	2	5	273	0	1	0	0	1	3	1	(1)	6	16,022	15,530	0	195	0	297	0
7	5	4	0	0	0	1	4	0	0	1	3	95	0	1	0	0	1	2	0	(0)	0	1,911	1,911	0	0	0	0	0
8	17	9	0	6	0	2	12	3	2	0	7	371	0	3	1	1	1	9	0	(0)	1	33,179	31,915	0	1,017	0	247	0
9	15	10	0	2	1	2	17	6	0	5	6	3,184	0	3	1	0	2	8	0	(0)	2	278,238	276,601	0	1,636	0	1	0
10	13	6	0	5	0	2	10	2	0	4	4	587	0	5	2	0	3	13	2	(0)	0	37,246	19,291	0	17,955	0	0	0
11	12	7	1	1	0	3	7	0	1	2	4	162	5	5	0	0	5	11	0	(0)	2	13,274	13,193	3	11	0	67	0
12	13	9	0	3	0	1	11	2	1	3	5	307	0	9	2	1	6	23	4	(1)	5	19,713	19,433	0	280	0	0	0
計	171	101	1	32	1	36	152	36	9	47	60	8,998	5	70	19	5	46	180	11	(2)	31	588,667	543,277	3	36,434	0	8,953	0

第4表 市町別火災発生状況表

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損
福井市	46	38	1	5	0	0	2	52	12	3	17	20	26	8	2	16	72
敦賀市	14	8	0	5	0	0	1	12	2	0	4	6	6	1	0	5	9
小浜市	12	3	0	1	1	0	7	7	3	0	3	1	0	0	0	0	0
大野市	10	6	0	4	0	0	0	7	1	2	3	1	4	1	1	2	10
勝山市	9	5	0	0	0	0	4	8	1	1	1	5	6	1	1	4	18
鯖江市	14	10	0	1	0	0	3	25	7	1	7	10	10	6	0	4	36
あわら市	8	3	0	2	0	0	3	7	2	0	4	1	6	2	0	4	10
越前市	11	5	0	2	0	0	4	5	1	0	1	3	3	0	0	3	8
坂井市	16	5	0	5	0	0	6	5	0	0	2	3	2	0	0	2	4
市計	140	83	1	25	1	0	30	128	29	7	42	50	63	19	4	40	167
永平寺町	1	1	0	0	0	0	0	4	1	0	1	2	1	0	0	1	1
池田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
越前町	5	2	0	1	0	0	2	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1
美浜町	8	5	0	0	0	0	3	6	2	1	1	2	1	0	0	1	1
高浜町	3	3	0	0	0	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0
おおい町	2	1	0	1	0	0	0	3	1	0	1	1	1	0	0	1	2
若狭町 (内訳)	9	6	0	3	0	0	0	6	1	1	1	3	3	0	1	2	8
旧三方町 敦賀美方消防管轄	4	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	5	4	0	1	0	0	0	4	1	1	1	1	3	0	1	2	8
町計	31	18	0	7	0	0	6	24	7	2	5	10	7	0	1	6	13
県計	171	101	1	32	1	0	36	152	36	9	47	60	70	19	5	46	180

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載

期間:令和2年1月1日～令和2年12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m <sup>2</sup> )	建 物 表 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
5	10	5,051	155	5	381,322	377,546	3	3,555	0	218	0
2	3	415	5	0	38,078	20,982	0	9,854	0	7,242	0
0	7	64	89	0	1,785	600	0	1,185	0	0	0
1	1	524	2	0	13,169	10,905	0	1,975	0	289	0
0	1	198	17	0	19,395	19,366	0	0	0	29	0
2	2	1,451	196	0	68,666	67,776	0	889	0	1	0
0	0	222	9	0	6,304	5,917	0	256	0	131	0
1	1	13	1	0	1,069	406	0	200	0	463	0
0	4	0	23	0	15,212	551	0	14,188	0	473	0
11	29	7,938	497	5	545,000	504,049	3	32,102	0	8,846	0
0	0	56	0	0	305	305	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	60	0	0	35	0	25	0
0	0	505	1	0	15,579	12,634	0	2,945	0	0	0
0	0	26	6	0	2,048	2,040	0	8	0	0	0
0	0	16	4	0	625	625	0	0	0	0	0
0	1	139	5	0	2,066	756	0	1,310	0	0	0
0	1	318	0	0	22,984	22,868	0	34	0	82	0
0	0	1	0	0	22	8	0	14	0	0	0
0	1	317	0	0	22,962	22,860	0	20	0	82	0
0	2	1,060	16	0	43,667	39,228	0	4,332	0	107	0
11	31	8,998	513	5	588,667	543,277	3	36,434	0	8,953	0

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	46	381,322	4	157	3	14,483	8	35,166	1	7463	3	1,174	5	481
敦賀市	14	38,078	2	24,688	1	3	0	0	1	13	1	2	1	169
小浜市	12	1,785	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0
大野市	10	13,169	2	3,867	1	17	0	0	0	0	3	349	0	0
勝山市	9	19,395	0	0	1	3	1	0	1	15747	1	1	1	0
鯖江市	14	68,666	1	132	2	6,793	1	11,680	2	37608	0	0	3	24
あわら市	8	6,304	1	128	1	0	1	4,553	0	0	0	0	2	21
越前市	11	1,069	0	0	2	229	1	68	1	52	0	0	1	20
坂井市	16	15,212	0	0	1	436	3	480	1	11	2	145	5	49
市 計	140	545,000	10	28,972	12	21,964	15	51,947	8	60,894	10	1,671	22	764
永平寺町	1	305	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	3	60	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0	0	0
越前町	5	15,579	2	15,579	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
美浜町	8	2,048	0	0	1	79	0	0	4	1,906	0	0	1	0
高浜町	3	625	1	416	1	188	0	0	0	0	0	0	0	0
おおい町	2	2,066	0	0	0	0	0	0	0	0	1	756	0	0
若狭町 (内訳)	9	22,984	1	11	0	0	1	4,656	0	0	1	20	2	15,258
旧三方町 <small>敦賀美方消防管轄</small>	4	22	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	5	22,962	0	0	0	0	1	4,656	0	0	1	20	1	15,250
町 計	31	43,667	4	16,006	2	267	3	4,681	5	1,906	2	776	3	15,258
県 計	171	588,667	14	44,978	14	22,231	18	56,628	13	62,800	12	2,447	25	16,022

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:令和2年1月1日～令和2年12月31日

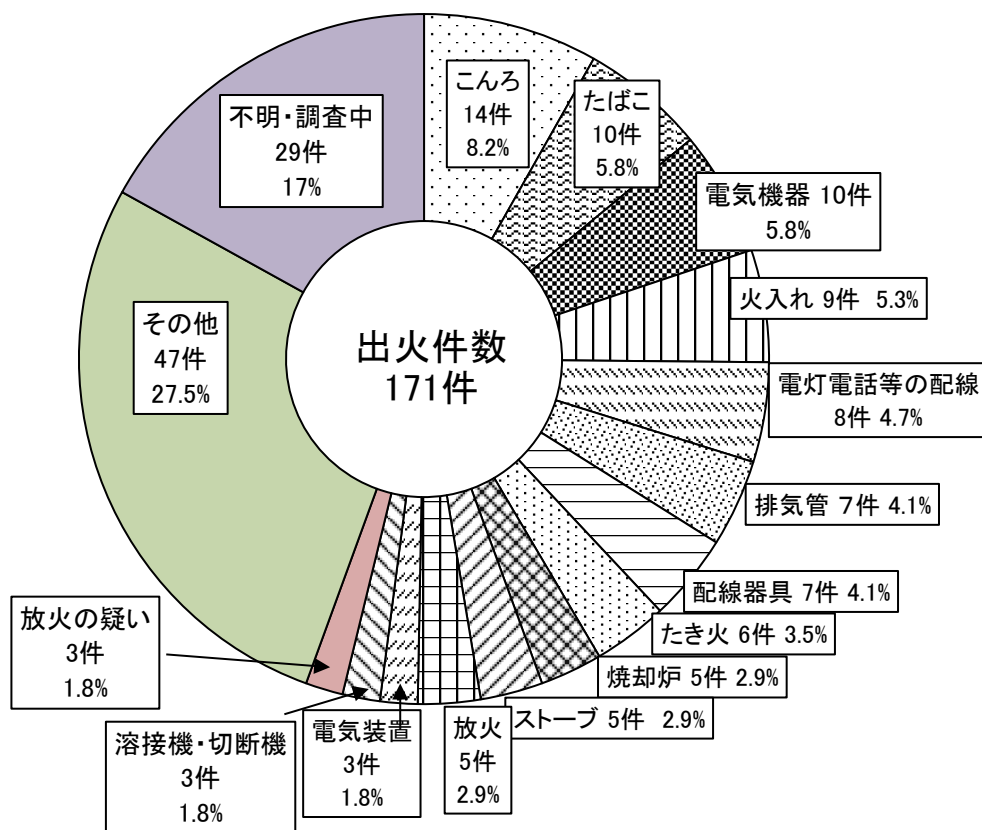
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
0	0	6	28,663	7	274,648	2	8,622	2	18	5	10,447	1.76
1	1	0	0	1	12	2	7,421	2	38	2	5,731	2.15
0	0	0	0	3	600	2	1,185	2	0	0	0	4.14
1	1,836	1	636	1	2,672	0	0	1	3,792	0	0	3.06
1	0	1	3,168	0	0	0	0	1	29	1	447	3.95
1	74	0	0	1	1	2	3,224	1	9,130	0	0	2.02
0	0	2	172	0	0	1	1,430	0	0	0	0	2.87
0	0	2	414	1	0	0	0	1	235	2	51	1.34
0	0	3	61	0	0	1	14,030	0	0	0	0	1.76
4	1,911	15	33,114	14	277,933	10	35,912	10	13,242	10	16,676	2.05
0	0	0	0	1	305	0	0	0	0	0	0	0.54
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
0	0	0	0	0	0	1	24	1	11	0	0	2.88
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2.36
0	0	1	62	0	0	0	0	0	0	1	1	8.58
0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	0	0	2.92
0	0	0	0	0	0	1	1,310	0	0	0	0	2.45
1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	2	3,036	6.18
0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3,036	
1	0	2	65	1	305	3	1,334	2	32	3	3,037	3.27
5	1,911	17	33,179	15	278,238	13	37,246	12	13,274	13	19,713	2.20

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:令和2年1月1日～令和2年12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
こ ん ろ	14	125	14	10	4,230
た ば こ	10	322	11	8	17,912
電 気 機 器	10	279	3	3	20,127
火 入 れ	9	25	4	0	2,096
電灯電話等の配線	8	1,282	15	6	67,802
排 気 管	7	9	2	0	1,385
配 線 器 具	7	79	4	1	17,778
た き 火	6	0	1	0	67
焼 却 炉	5	263	3	0	15,753
ス ト ー ブ	5	441	12	9	13,096
放 火	5	0	3	0	147
電 気 装 置	3	0	2	0	96
溶接機・切断機	3	0	2	0	405
放 火 の 疑 い	3	0	1	0	0
そ の 他	47	3,503	37	11	319,975
不 明 ・ 調 査 中	29	2,670	38	22	107,798
合 計	171	8,998	152	70	588,667

第6図 全火災の出火原因別状況





第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	5	4	0	0	0	0	9
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	1	0	0	1
そ の 他 火 災	0	0	0	1	0	0	1
合 計 ( 人 )	5	4	0	2	0	0	11

第8表 死者の経過別および年齢別発生状況表

経過別 年齢別(歳)	0 ～ 5	6 ～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
熟睡等により発見遅れる				1		1			3				5
判断力・体力条件のため							1						1
人の救助のため逃げる機会を失う											1		1
身体不自由のため逃げきれず										1			1
放火自殺						1				1			2
不明・調査中										1			1
合計(人)	0	0	0	1	0	2	1	0	3	3	1	0	11

## 第3章 救急業務の実態

### 1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外もしくは公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、令和3年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車56台(全て高規格救急自動車)、救急隊員538名(うち救急救命士244名)で救急業務にあたっている。

### 2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、令和3年4月1日現在、第2表のとおり51施設である。

### 3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は26,253件、搬送人員は24,822人となっている。県内1日あたりの出場件数は72件となり、約20分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともに平成30年まで増加傾向にあったが、令和元年は災害や猛暑日が少なく平成30年との比較で3%減少した。さらに、令和2年には新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛等の影響で救急需要が大幅に減少したことから、令和元年との比較で13%減少し、出場件数と搬送人員が過去10年で最少となった。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が16,352件で、全体の62.3%を占め、次いで一般負傷4,356件(16.6%)、交通事故1,851件(7.1%)などとなっている。搬送人員では急病が15,356人で全体の61.9%を占め、次いで一般負傷4,154人(16.7%)、交通事故1,998人(8.0%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

令和3年4月1日現在

消防本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士		救急救命士		救急救命士	
福井市	11	0	11	54	37	27	19	81	56
大野市	4	0	4			47	17	47	17
勝山市	3	0	3			28	10	28	10
永平寺町	3	0	3			36	12	36	12
嶺北消防組合	8	0	8			92	34	92	34
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			95	36	95	36
南越消防組合	8	0	8			73	27	73	27
敦賀美方消防組合	6	0	6	13	9	23	19	36	28
若狭消防組合	7	0	7	7	5	43	19	50	24
合計	56	0	56	74	51	464	193	538	244

第2表 医療機関状況表

令和3年4月1日現在

種別 告示別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
救急告示医療機関	7	5	28	11	51
その他の医療機関	14	7	24	472	517
合計	21	12	52	483	568

第3表 救急活動状況表

(令和2年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損為	急病	その他
救急出場件数	26,253	78	3	52	1,851	298	100	4,356	54	227	16,352	2,882
搬送人員	24,822	30	2	26	1,998	296	101	4,154	48	131	15,356	2,680

第4表 高速自動車道における救急活動状況表

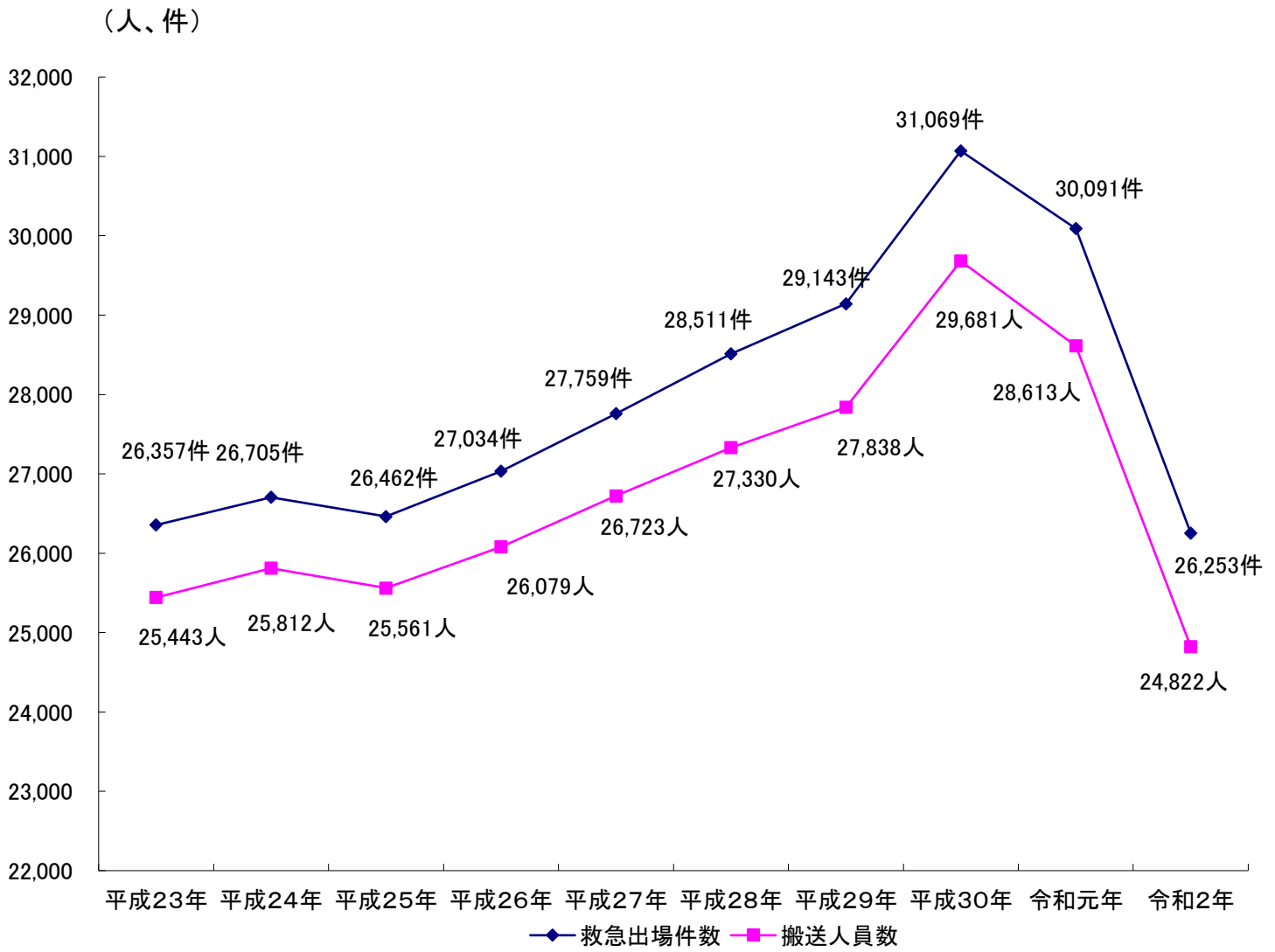
(令和2年中)

高速道路名	北陸自動車道										小計
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部		敦賀美方消防組合消防本部		
I C 名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀			
救急出動数	5	3	0	1	11	5	19			27	71
搬送人員	7	3	0	1	14	5	26			28	84

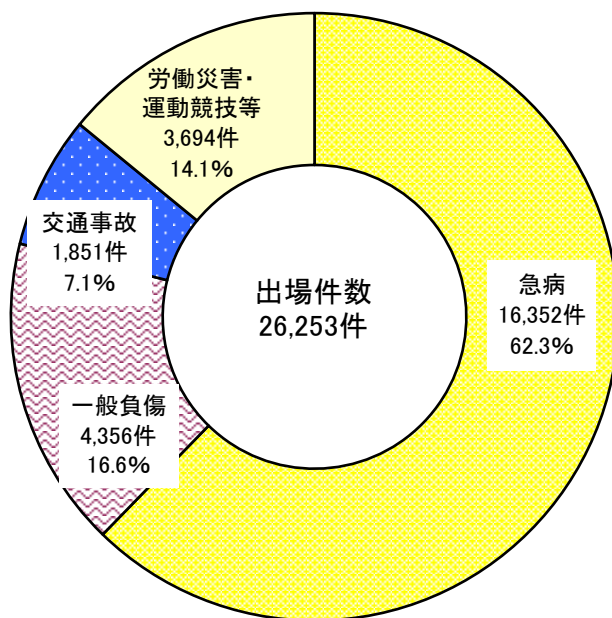
  

高速道路名	舞鶴若狭自動車道										小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合消防本部					若狭消防組合消防本部						
I C 名	舞鶴美浜	若狭三方	敦賀南	三方五湖	大飯高浜	小浜西	小浜	若狭上中	三方五湖			
救急出動数	2	0	0	3	3	0	1	1	0	10	81	
搬送人員	3	0	0	2	4	0	0	0	0	9	93	

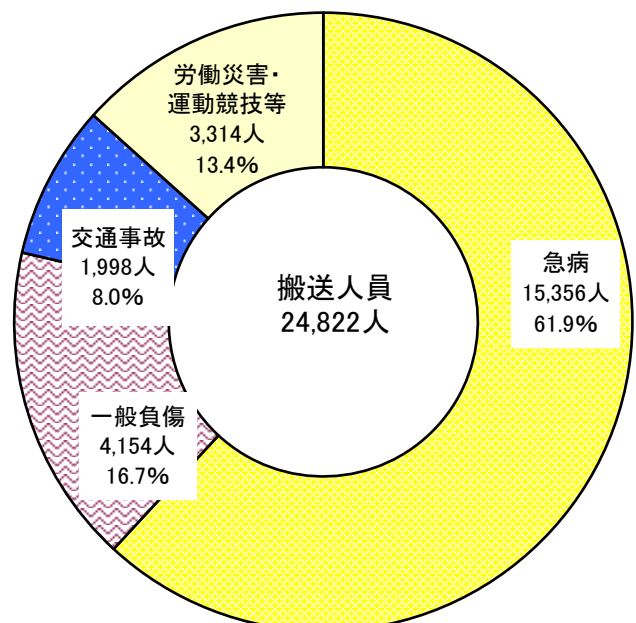
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



## 第4章 予 防 行 政 の 概 況

### 1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による令和2年4月1日から令和3年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分		点検を要する防火対象物数		点検報告済防火対象物数		特例認定済防火対象物数		
		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	32		12		8	
	ロ	公会堂または集会場	217		100		58	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	56		27		10	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	3		2			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	3	8	2	4		
	ロ	飲食店	7	41	4	10		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	192	19	128	3	8	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	40	77	19	17	9	35
6	イ	病院、診療所または助産所	36	7	18	1	11	5
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	7	5	1	2	3	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	2	3	1	3	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	4		1		1	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	204	37	106	9	32	2
16の2		地下街						
合 計			804	197	422	49	141	43

#### 【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
  - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
  - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…令和3年3月31日
- ・調査期間……令和2年4月1日～令和3年3月31日

## 2 消防設備士試験および講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて642人の受験者に対して302人が合格し、合格率は47.0%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は630人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

### 第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：令和2年8月30日（日）

令和3年1月17日（日）

区 分	令和2年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数		甲種	乙種
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種		
特 類	3		0		0.0%		0		19	
第 1 類	57	16	29	7	50.9%	43.8%	31	7	1,296	347
第 2 類	14	4	7	0	50.0%	0.0%	8	0	374	111
第 3 類	25	10	14	2	56.0%	20.0%	16	2	308	70
第 4 類	130	88	55	49	42.3%	55.7%	53	48	2,916	1,203
第 5 類	31	8	14	3	45.2%	37.5%	15	3	330	130
第 6 類		167		73		43.7%		66		2,335
第 7 類		89		49		55.1%		82		3,398
計	260	382	119	183	45.8%	47.9%	123	208	5,243	7,594

### 第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類, 第2類, 第3類 消防設備士	138	令和2年12月15日（火） 令和3年 1月18日（月）
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類, (乙)第6類 消防設備士	161	令和2年12月16日（水） 令和3年 1月19日（火）
警 報 設 備	(甲・乙)第4類, (乙)第7類 消防設備士	331	令和2年12月17日（木） 令和2年12月18日（金） 令和3年 1月20日（水） 令和3年 1月21日（木）
合 計		630	

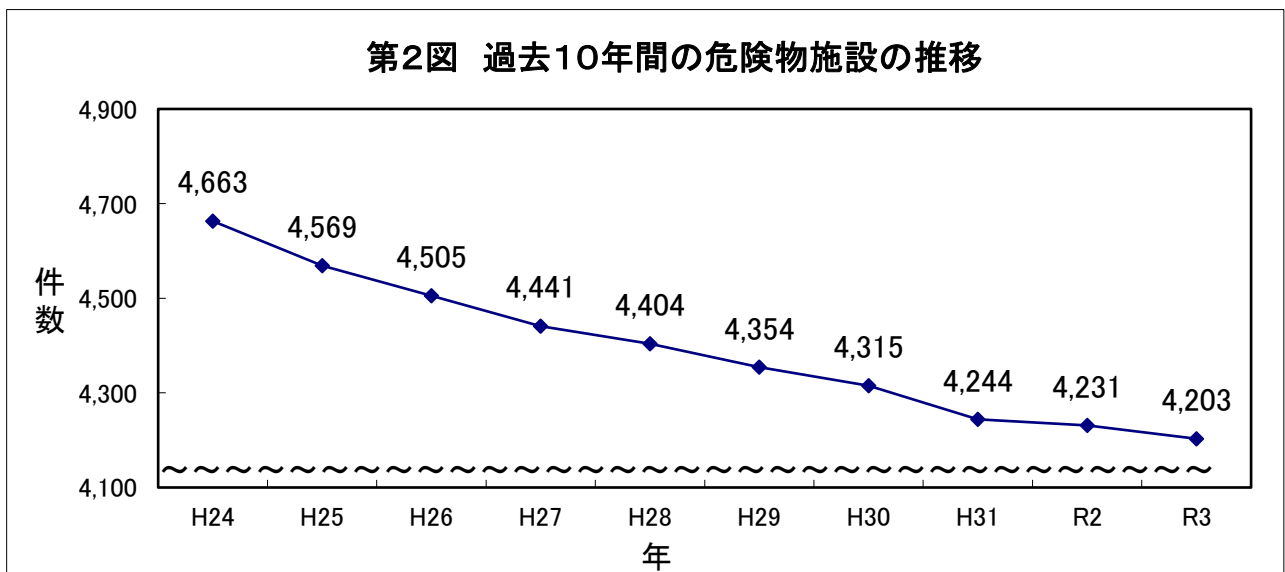
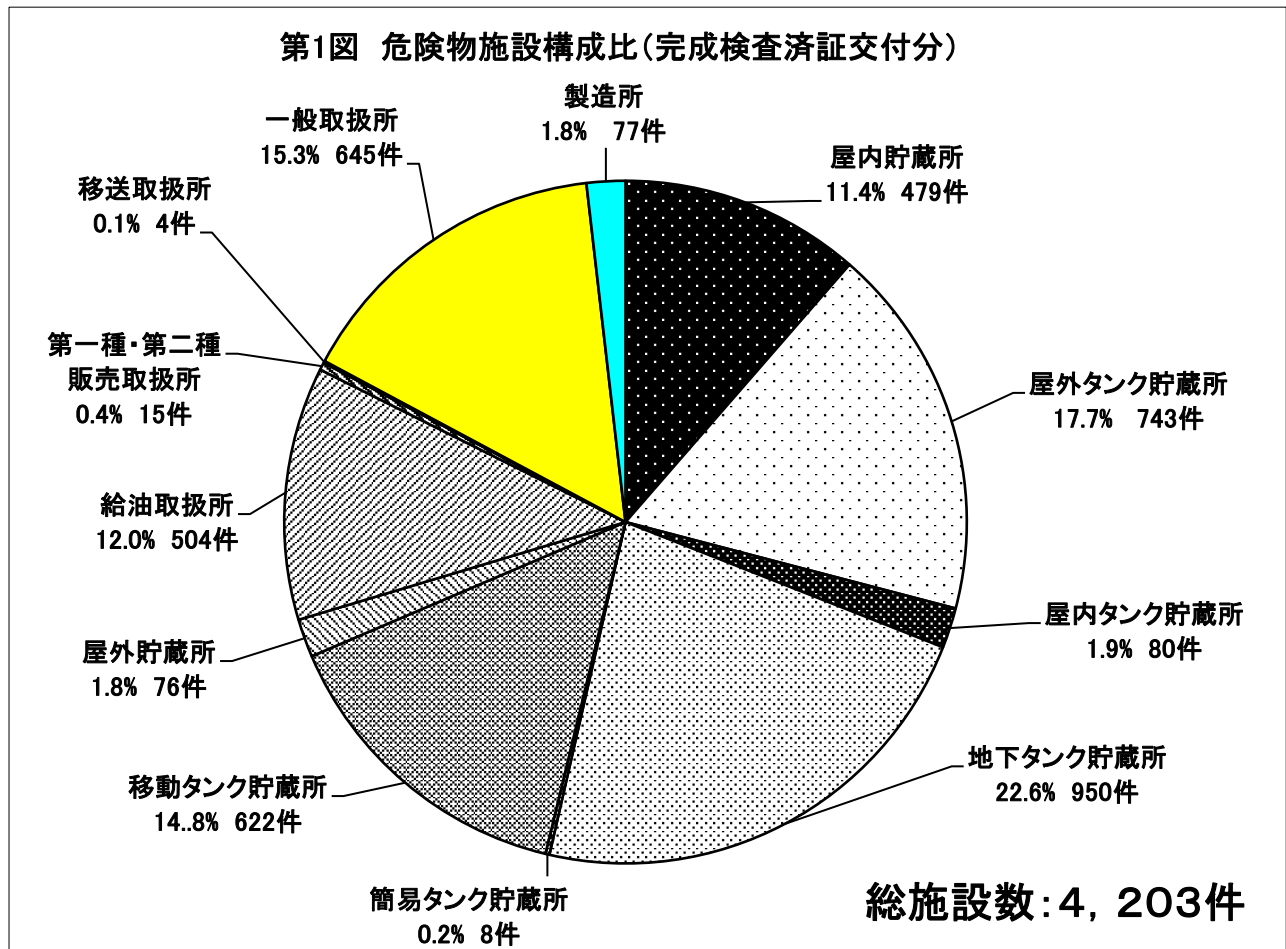
## 第5章 危険物規制

### 1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(令和3年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し28件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

令和3年3月31日現在

危険物施設の別 消防本部名	製造所 (A)	貯蔵所										取扱所					合計 (A+B+C)	事業所	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			小計 (C)
				特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所														
福井市	21	109	189	5	20	26	252	1	172	18	767	128	8	0	1	140	277	1,065	504
大野市	0	8	16	0	0	0	49	0	33	0	106	23	0	0	0	28	51	157	92
勝山市	3	9	26	0	0	1	43	0	17	2	98	16	0	0	0	20	36	137	77
永平寺町	0	5	5	0	0	2	20	0	16	0	48	6	0	0	0	11	17	65	36
嶺北消防組合	33	104	183	3	34	11	167	1	110	22	598	87	0	0	2	163	252	883	312
鯖江・丹生消防組合	5	63	58	0	0	6	112	0	45	9	293	42	2	4	0	50	98	396	274
南越消防組合	12	72	113	0	0	11	111	2	84	14	407	64	0	0	0	77	141	560	242
敦賀美方消防組合	1	60	101	7	8	14	121	0	90	8	394	89	0	0	1	95	185	580	223
若狭消防組合	2	49	52	0	0	9	75	4	55	3	247	49	1	0	0	61	111	360	153
合計	77	479	743	15	62	80	950	8	622	76	2,958	504	11	4	4	645	1,168	4,203	1,913

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キログラム以上千キログラム未満のものを記載（以下の表においても同様）
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キログラム以上のものを記載（以下の表においても同様）
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載



第2表 指定数量別および類別危険物施設数

令和3年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製造所 (A)	貯蔵所										取扱所					合計 (A+B+C)		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計 (C)	
5倍以下	3	219	127			55	502	8	469	19	1,399	37	5			275	317	1,719	
5倍を超えて10倍以下	9	100	103			20	221		14	26	484	54	4			158	216	709	
10 " 50 "	35	86	252			5	159		27	28	557	132	2	4		125	263	855	
50 " 100 "	15	21	88				37		87	2	235	70				38	108	358	
100 " 150 "	3	27	46				15		24		112	51				17	68	183	
150 " 200 "		9	9	1			7			1	26	58				8	66	92	
200 " 1,000 "	12	14	54	9	3		9		1		78	101				17	118	208	
1,000 " 5,000 "		3	23	5	18						26	1				3	4	30	
5,000 " 10,000 "			3		3						3					2	2	5	
10,000倍を超えるもの			38		38						38				4	2	6	44	
合計	77	479	743	15	62	80	950	8	622	76	2,958	504	11	4	4	645	1,168	4,203	
単独	第1類	1	9								9							10	
	第2類	1	4								4					3	3	8	
	第3類		3								3					5	5	8	
	第4類	53	418	739	15	62	80	950	8	622	75	2,892	504	11	4	4	614	1,137	4,082
	第5類		17	2							19								19
	第6類			2								2							2
混在	22	28								1	29					23	23	74	
合計	77	479	743	15	62	80	950	8	622	76	2,958	504	11	4	4	645	1,168	4,203	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。  
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

令和2年4月1日から  
令和3年3月31日まで

危険物施設の別 消防本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計 (A+B+C)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	20	42	145	5	83		162	15	452	97	1		1	55	154	626
	延回数	30	43	151	5	89		165	15	468	98	1		1	60	160	658
大 野 市	検査施設数							31		31	13					13	44
	延回数							31		31	13					13	44
勝 山 市	検査施設数	2	4	7	1	25		16	2	55	12				7	19	76
	延回数	2	4	7	1	25		17	2	56	12				7	19	77
永 平 寺 町	検査施設数		4	5	2	20		16		47	6				11	17	64
	延回数		4	5	2	20		16		47	6				11	17	64
嶺北消防組合	検査施設数	11	24	75	3	39	1	37	5	184	61			2	42	105	300
	延回数	11	24	80	3	51	1	53	5	217	62			2	51	115	343
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	1	4	10	1	1		50	1	67	21				5	26	94
	延回数	1	4	10	1	1		50	1	67	21				5	26	94
南越消防組合	検査施設数		28	25	1	23		68	6	151	8				5	13	164
	延回数		28	25	1	23		72	6	155	10				5	15	170
敦賀美方消防組合	検査施設数		17	22		21		75	9	144	15			1	36	52	196
	延回数		17	22		21		75	9	144	15			1	36	52	196
若狭消防組合	検査施設数		32	14	8	36	3	36	1	130	28	1			28	57	187
	延回数		32	14	8	37	3	36	1	131	28	1			28	57	188
合 計	検査施設数	34	155	303	21	248	4	491	39	1,261	261	2		4	189	456	1,751
	延回数	44	156	314	21	267	4	515	39	1,316	265	2		4	203	474	1,834

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載  
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

令和3年3月31日現在

消防本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・丹生	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	消	消	美	消	
	合	計			防	防	防	方	防	
	計				組	組	組	消	組	
					合	合	合	防	合	
100kl未満	147	16	26	5	129	41	103	61	46	574
100kl～500kl未満	17	0	0	0	17	17	10	25	6	92
500kl～1,000kl未満	5	0	0	0	3	0	0	7	0	15
1,000kl～5,000kl未満	0	0	0	0	19	0	0	8	0	27
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
100,000kl以上	20	0	0	0	10	0	0	0	0	30
合計	189	16	26	5	183	58	113	101	52	743

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

令和3年3月31日現在

品名別 容量別	第4類											第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第4	ア	そ	小			
	油	フ	ソ	油	油	油	石	ル	の	計			
		サ	リ				油	コ	他	(A)			
			ン				類	ー					
								ル					
								コ					
								ー					
								ル					
								類					
100kl未満	0	0	0	72	35	166	18	54	225	570	4	574	
100kl～500kl未満	0	0	0	3	16	41	7	0	25	92	0	92	
500kl～1,000kl未満	3	0	1	0	1	7	0	0	3	15	0	15	
1,000kl～5,000kl未満	0	0	6	3	4	7	0	0	7	27	0	27	
5,000kl～10,000kl未満	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	
10,000kl～50,000kl未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50,000kl～100,000kl未満	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	3	
100,000kl以上	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	30	
合計	33	0	7	80	56	224	25	54	260	739	4	743	

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		平成29年度 合 格 率 ( % )	平成30年度 合 格 率 ( % )	令和元年度 合 格 率 ( % )	令和2年度		
					受 験 者 数 ( 人 )	合 格 者 数 ( 人 )	合 格 率 ( % )
甲 種		30.9	37.9	39.6	174	63	36.2
乙 種	第 1 類	60.4	63.0	68.3	182	115	63.2
	第 2 類	74.1	71.8	66.7	172	119	69.2
	第 3 類	63.8	59.6	70.2	172	121	70.3
	第 4 類	34.3	37.8	38.8	2,123	792	37.3
	第 5 類	66.4	65.0	71.9	134	94	70.1
	第 6 類	58.5	63.2	58.8	191	113	59.2
	小 計	43.8	45.4	46.5	2,974	1,354	45.5
丙 種		58.7	51.2	49.0	477	273	57.2
合 計		45.3	46.0	46.5	3,625	1,690	46.6

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		平成29年度 受 講 者 数 ( 人 )	平成30年度 受 講 者 数 ( 人 )	令和元年度 受 講 者 数 ( 人 )	令和2年度	
					受 講 者 数 ( 人 )	講 習 実 施 回 数 ( 回 )
給 油 取 扱 所		410	425	461	399	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		56	44	51	45	2
そ の 他		1,456	1,647	1,584	1,580	27
合 計		1,922	2,116	2,096	2,024	37

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

## 2 危険物施設の火災および漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、平成28年が9件と最も多い。  
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、移動タンク貯蔵所での事故が11件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別の別 内 訳	製造所 (A)	貯蔵所							取扱所						その他 (D)	合計 (A+B+C+D)	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			小計 (C)
平成28年	火災								0						4	4		4
	漏えい							1	1						1	1		2
	その他							2	2						1	1		3
平成29年	火災	1							0							0		1
	漏えい				1				1							0		1
	その他								0					1	1			1
平成30年	火災								0						1	1		1
	漏えい							2	2	1						1		3
	その他	1							0	1						1		2
令和元年	火災	3							0							0		3
	漏えい							3	3							0		3
	その他							2	2							0		2
令和2年	火災								0						1	1		1
	漏えい							1	1						1	1		2
	その他								0							0		0
火災計		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	10
漏えい計		0	0	0	0	1	0	7	0	8	1	0	0	0	2	3	0	11
その他計		1	0	0	0	0	0	4	0	4	1	0	0	0	2	3	0	8
総計		5	0	0	0	1	0	11	0	12	2	0	0	0	10	12	0	29

注： 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載

## 第6章 消防の概要

### 1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は令和3年4月1日現在で1,245名である。

また、消防団員数は令和3年4月1日現在で5,874名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

### 2 消防施設

#### (1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

#### (2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

### 3 民間防火組織

#### (1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

#### (2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

#### (3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、重要な役割を果たしている。

## 4 表 彰

消防職員および消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防職団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

## 5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29	30	令和元	2	3
1,188	1,206	1,206	1,226	1,238	1,235	1,246	1,245
5,720	5,797	5,781	5,809	5,825	5,824	5,814	5,874

第2表 消防機関の現況

区 分		令和2年4月(A)	令和3年4月(B)	増減(B-A)
消 防 本 部 ・ 署	消 防 本 部 数	9	9	0
	消 防 署 数	19	19	0
	出 張 所 数	28	27	△ 1
	消 防 職 員 数	1,246	1,245	△ 1
消 防 団	消 防 団 数	18	18	0
	分 団 数	238	238	0
	消 防 団 員 数	5,814	5,874	60

第3表 消防の概況

令和3年4月1日現在

区分 消防本部名	消防本部・署所				消防団						消防水利		基地局および固定局 移動局					
	設置別	消防署数	出張所数	消防実員数	自普通自動車数	水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数		自普通自動車数		付小型積載ポンプ車数	小型動力ポンプ付積載車			
										計	非常勤					消火栓（公設）	防火水槽	
福井市	○	4	14	368	18	3	1	54		999		1	52	41	823	30	15	172
大野市	○	1	1	55	4		1	10		441		10	21		307	26	3	37
勝山市	○	1		38	2	1	1	12		292		2	11		433	13	16	42
永平寺町	○	1		39		3	1	11		350		10	10		179	11	3	27
嶺北消防組合	○	4	1	198	6	4	2	33		708		35	7		1,526	115	4	131
鯖江・丹生消防組合	○	1	4	123	5	1	2	36		577		34	3	3	1,658	38	5	254
南越消防組合	○	3	2	150	7	4	3	33		805		11	26		2,513	33	7	155
敦賀美方消防組合	○	3	1	150	3	4	3	16		738		23	31	6	1,316	163	8	137
若狭消防組合	○	1	4	124	7	3	4	33		964		9	40	48	1,081	58	6	136
計	1	19	27	1,245	52	23	18	238	0	5,874	0	135	201	98	18,765	487	67	1,091



第4表 階級別消防職員数

令和3年4月1日現在

区分	消防職員										その他の職員			条例定数		
	計(A) = (B) + (C)	うち女性	消防司令	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)	事務職員		技術職員	単 純 勞 務 職 員
消防本部名																
福井市	377	7	( )	1	6	25	81	61	80	47	67	368	9	( )	( )	9
大野市	56	3	( )	( )	( )	1	8	19	9	8	10	55	1	( )	( )	1
勝山市	39	1	( )	( )	( )	4	4	15	2	8	5	38	1	( )	( )	1
永平寺町	39	1	( )	( )	( )	1	6	13	3	8	8	39	( )	( )	( )	0
嶺北消防組合	201	10	( )	1	1	8	42	36	48	30	32	198	3	( )	( )	3
鯖江・丹生消防組合	124	6	( )	( )	( )	8	33	22	19	17	23	123	1	( )	( )	1
南越消防組合	156	5	( )	( )	( )	10	37	31	26	18	27	150	6	( )	( )	6
敦賀美方消防組合	151	2	( )	( )	( )	12	24	27	27	30	29	150	1	( )	( )	1
若狭消防組合	125	1	( )	( )	( )	7	28	21	14	29	24	124	1	( )	( )	1
計	1,268	36	( )	2	11	76	263	245	228	195	225	1,245	23	0	0	23
			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
			( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

注1: 下段の( )は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある。

第5表 階級別非常勤消防団員数

令和3年4月1日現在

階級別 消防本部名	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条約定数
福井市	999 (49)	1 ( )	8 ( )	54 (2)	54 (2)	102 (4)	103 (5)	677 (36)	1,055
大野市	441 (97)	1 ( )	2 ( )	10 (1)	11 (2)	35 (3)	70 (6)	312 (85)	485
勝山市	292 (24)	1 ( )	2 ( )	12 ( )	12 ( )	25 (1)	34 (2)	206 (21)	299
永平寺町	350 (25)	1 ( )	2 ( )	11 (1)	11 (1)	—	34 (1)	291 (22)	412
嶺北消防組合	708 (21)	2 ( )	7 ( )	33 ( )	52 ( )	2 (2)	63 (2)	549 (17)	773
鯖江・丹生消防組合	577 (21)	2 ( )	5 ( )	34 ( )	34 ( )	—	81 (1)	421 (20)	647
南越消防組合	805 (51)	3 ( )	9 ( )	32 (3)	32 (3)	—	83 (5)	646 (40)	826
敦賀美方消防組合	738 (40)	3 ( )	4 ( )	16 ( )	16 ( )	52 (1)	86 (3)	561 (36)	761
若狭消防組合	964 (30)	4 ( )	6 ( )	33 ( )	23 ( )	54 (1)	94 (1)	750 (28)	970
計	5,874 (358)	18 (0)	45 (0)	235 (7)	245 (8)	270 (12)	648 (26)	4,413 (305)	6,228

注：下段の( )は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員および消防団員数

令和3年4月1日現在

年齢別 消防本部名	消 防 団 員										消 防 吏 員																		
	(C)のうち										団員数 (C)	(A)のうち										平均年齢 (B)							
	年齢合計 (D)											平均年齢 (A)	年齢合計 (B)																
	18歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳			65歳以上	18歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳		55歳以上						
福井市	1	10	30	56	112	152	189	165	142	119	23	999	40.3	14,817	67	36	64	26	33	39	47	47	39	33	26	64	36	67	47.9
大野市	0	4	11	33	55	71	77	79	59	43	9	441	39.7	2,185	9	3	11	5	5	9	8	4	8	5	11	3	9	47.2	
勝山市	0	4	5	17	50	40	60	36	43	32	5	292	42.4	1,613	6	4	10	5	2	7	3	1	7	2	10	4	6	47.1	
永平寺町	1	14	14	18	34	59	59	42	35	36	38	350	37.7	1,471	2	4	8	6	3	6	6	3	6	8	4	2	48.1		
嶺北消防組合	0	6	15	55	78	133	155	131	77	40	18	708	38.0	7,517	10	19	40	23	24	29	24	29	27	24	40	19	10	46.6	
鯖江・丹生消防組合	0	8	32	72	103	127	137	58	27	9	4	577	37.3	4,586	9	21	21	19	10	14	23	14	15	19	21	9	9	42.2	
南越消防組合	0	6	33	59	78	139	173	142	100	53	22	805	38.0	5,693	15	32	32	15	7	19	26	19	7	15	32	12	15	46.8	
敦賀美方消防組合	1	29	52	133	179	141	92	44	31	31	5	738	35.9	5,380	3	7	23	21	30	20	18	20	22	30	21	7	3	40.0	
若狭消防組合	1	17	97	171	195	208	131	75	45	17	7	964	36.3	4,506	8	16	16	14	11	22	18	22	21	11	14	8	10	40.0	
計	4	98	289	614	884	1,070	1,073	772	559	380	131	15,874	38.4	47,768	131	102	225	134	125	170	165	125	134	225	102	131	44.6		

注:18歳～19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

令和3年4月1日現在

年数別 消防本部名	消 防 吏 員								消 防 団 員							
	消				防				常 勤				非 常 勤			
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上
福 井 市	368	63	59	40	20	32	47	107	999	225	192	209	124	96	80	73
大 野 市	55	5	10	8	4	6	10	12	441	54	136	83	46	48	37	37
勝 山 市	38	3	5	5	3	5	8	9	292	51	47	53	45	50	25	21
永 平 寺 町	39	7	9	2	1	6	10	4	350	165	72	52	28	18	13	2
嶺 北 消 防 組 合	198	26	37	38	15	11	41	30	708	113	140	139	111	103	53	49
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	123	25	17	18	11	14	20	18	577	128	104	148	95	69	23	10
南 越 消 防 組 合	150	31	26	16	5	21	26	25	805	142	204	130	119	92	70	48
敦 賀 美 方 消 防 組 合	150	20	32	28	19	13	28	10	738	243	218	146	73	23	20	15
若 狭 消 防 組 合	124	19	27	20	10	14	12	22	964	419	236	160	90	42	12	5
計	1,245	199	222	175	88	122	202	237	5,874	1,540	1,349	1,120	731	541	333	260

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部および署)

令和3年4月1日現在

区分	消防本部・署現有																					
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	消防ポンプ自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積小型動力ポンプ付車 積小型動力ポンプ載り	積小型動力ポンプ付車 積小型動力ポンプ載り	広報車	資器材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	その他車両	
消防本部名																						
福井市消防局	18	3	2	1	1	1	3	5		7	6	4			1	1	1		11 (11)	2	8	
大野市消防本部	4		1				1	1			1	2			1				4 (4)	1		
勝山市消防本部	2	1	1					1			1	1							3 (3)	1	2	
永平寺町消防本部		3						1		2		1							3 (3)	1		
嶺北消防組合	6	4		1	1	1	4	5		5	1	5			1				8 (8)	3	9	
鯖江・丹生消防組合	5	1		1			2	2			7	2			1				6 (6)	1		
南越消防組合	7	4	1	1			2	3		1	7	5			1	1	1		8 (8)	3		
敦賀美方消防組合	3	4	1				2	1		6	1	5			1				6 (6)	2	8	
若狭消防組合	7	3		1			1	1		6	6	2							7 (7)	1	1	
計	52	23	4	2	2	1	15	20	0	27	30	27	0	4	4	4	4	1	56 (56)	15	28	

注:救急自動車の( )は高規格救急自動車で内数

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

令和3年4月1日現在

種別 消防本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	1		52	41
大野市	10		21	
勝山市	2		11	
永平寺町	10		10	
嶺北消防組合	35		7	
鯖江・丹生消防組合	34		3	3
南越消防組合	11		26	
敦賀美方消防組合	23		31	6
若狭消防組合	9		40	48
計	135	0	201	98

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

令和3年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別																			
	(A)	(B)	たんぱく系		合成界面活性剤	水成膜泡消火薬剤	水溶性液体用泡消火薬剤 (耐アルコール用)	第1種粉末	第2種粉末	第3種粉末	第4種粉末											
	(kg) (ア)～(オ)	(kg) (カ)～(ケ)	3%型 (kg) (ア)	6%型 (kg) (イ)	(kg) (ウ)	(kg) (エ)	(kg) (オ)	(kg) (カ)	(kg) (キ)	(kg) (ク)	(kg) (ケ)											
消防本部名																						
福井市	14.69	0.00	10.40	0.09	1.63	2.23	0.34															
大野市	1.64	0.00			0.12	1.52																
勝山市	0.82	0.00			0.82																	
永平寺町	0.50	0.00			0.50																	
嶺北消防組合	29.61	0.00	5.06		3.32	19.77	1.46															
鯖江・丹生消防組合	4.42	0.00			2.56	1.86																
南越消防組合	1.91	0.00			0.44	1.47																
敦賀美方消防組合	4.57	0.00	0.85		2.52	0.92	0.28															
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34																	
計	59.50	0.00	16.31	0.09	13.25	27.77	2.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00										

第11表 消防水利の状況

令和3年4月1日現在

種別	計	消火栓				小計(C)(D)+(E)				公設(D)				私設(E)				その他												
		小計		公設		私設		防火水槽				防火水槽				井戸				小計	河川・溝等	海湖	塚	下	その他					
		(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	100	60	40	20	100	60	40	20	100	60	40	20							100	60	40	20	
																				m <sup>3</sup> 以上	m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup> 以上	m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup> 以上	m <sup>3</sup> 未満					m <sup>3</sup> 以上
消防本部分名	(A) + (B) (C)	小計	公設	私設	井戸	100	60	40	20	100	60	40	20	100	60	40	20	100	60	40	20	井戸	小計	河川・溝等	海湖	塚	下	その他		
福島市	10,431	9,578	9,578	0	30	8	785	30	30	0	8	785	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	128	79				122	
大野市	841	481	481	0	3	3	301	26	27	0	1	233	16	27	3	2	68	10	0	0	0	0	8		8					
勝山市	647	433	433	0	3	2	196	13	0	0	2	196	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
永平寺町	443	179	179	0	1	19	233	11	0	0	19	233	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9							
嶺北消防組合	2,885	1,526	1,526	0	53	64	1,127	115	0	0	49	932	86	0	41	15	195	29	0	0	0	0	57	12	6	39				
鯖江・丹生消防組合	2,596	1,658	1,658	0	17	13	870	38	0	0	15	850	38	0	2	3	20	0	0	0	0	32				27			5	
南越消防組合	3,332	2,611	2,513	98	7	18	663	33	0	0	18	647	32	0	1	0	16	1	0	107	61	1	26	18					1	
敦賀美方消防組合	1,758	1,316	1,316	0	5	9	212	163	53	5	4	192	155	53	0	5	20	8	0	0	0	0								
若狭消防組合	1,653	1,081	1,081	0	1	6	507	58	0	0	2	499	52	0	0	4	8	6	0	31										
計	24,586	18,863	18,765	98	120	142	4,894	487	80	73	113	4,567	433	80	47	29	327	54	0	573	201	7	219	18				0	128	



第12表 消防機関の出動状況

令和2年中

区分	種別	県計	火災	風水害等の災害	演習訓練	広報指導	警防調査	火災原因調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
		(ア)~(カ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)
消防本部・署所	出動回数	18,159	170	6	2,586	1,717	5,844	261	1,772	37	4,300	53	1,413
	出動延人数	61,038	2,670	10	14,756	4,944	15,697	1,247	5,040	154	11,588	655	4,277
消防団	出動回数	3,150	92	4	812	189	0	0	420	0	0	23	1,610
	出動延人数	28,176	1,814	51	11,327	2,131	0	0	4,567	0	0	135	8,151

第13表 消防吏員および団員の公務による死傷者数

令和2年中

区分	種別	県計	火災	風水害等の災害	救急業務	演習訓練	特別警戒	捜索	その他
		(ア)~(キ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	7	1	0	2	3	0	0	1
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	0	0	0	0	0	0	0	0

第14表 火災通報施設等の現況

令和3年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望楼		電話					救急指令装置			
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視体 制をとつ ているもの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (カ)+(キ)+(ク) (回線)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救急 指令 専用	消防 指令 装置と併用		
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	火災報知 専用電話 (カ) (回線)				消防電話 回線 (カ) (回線)	1ヶ月あた りの経費 (千円)
消防本部名															
福井市	0			0			276	18	198	160	60		1		
大野市	0			0			32	9	2	5	21				
勝山市	0			0			11	8			3				
永平寺町	0			0			18	8			10		1		
嶺北消防組合	0			0			47	14			33				
鯖江・丹生消防組合	0			0			58	13	5	231	40	1	1		
南越消防組合	0			0			55	12	2		41				
敦賀美方消防組合	0			0			44	13	9	259	22				
若狭消防組合	0			0			48	8	8		32				
計	0	0	0	2	0	0	589	103	224	655	262	1	3		

第15表 無線通信施設等の現況

令和3年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線（デジタル方式）											携帯電話等				
	固定局			基地局および携帯基地局						移動局		その他の無線局数	衛星携帯電話保有数	救急車および救急隊	うち災害時 優先電話	
	局数		局の電波の数の その他	局数		電波の数				陸上移動局数	携帯局数					
	多重	その他		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波							
消防本部名																
福井市	6			9		3	1	5		172			1	11	11	
大野市				3		3	1	2		37			3	4	3	
勝山市		13	13	3		3	1	2		42			1	2	2	
永平寺町				3		3	1	2		27			1	3	3	
嶺北消防組合				4		3	1	3		131			1	9	4	
鯖江・丹生消防組合				5		3	1	2		254			3	6	6	
南越消防組合				7		3	1	3		155			5	8	8	
敦賀美方消防組合				8		3	1	2		137			3	6	5	
若狭消防組合				6		3	1	2	1	136			1	6	6	
計	6	13	13	48	0	27	9	23	1	1,091	0	0	19	55	48	

第16表 幼年消防クラブの現況

令和3年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数							
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 単位	町 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市 単位	町 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防本部名																		
福井市	2	2						39	39						2			
大野市	14	14						996	996						14			
勝山市	12	12						428	428						52			
永平寺町	10	10						544	544						48			
嶺北消防組合	45	45						4,156	4,156						45			
鯖江・丹生消防組合	38	38						1,476	1,476						104			
南越消防組合	35	35						802	802						39			
敦賀美方消防組合	37	37						2,654	2,654						37			
若狭消防組合	1	1						23	23						4			
計	194	194	0	0	0	0	0	11,118	11,118	0	0	0	0	0	345	345	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

令和3年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	学校単位		市町単位	地区単位	その他	計	学校単位		市町単位	地区単位	その他	計	学校単位		
		小学校	中学校					小学校	中学校					小学校	中学校	
消防本部名																
福井市	50	50					2,663	2,663					70	70		
大野市	14	9	5			354	432	78					13	9	4	
勝山市	16	3		4	9	340	799				61	398	47	9		38
永平寺町	11				11		230					230	54			54
嶺北消防組合	26	26				972	972						26	26		
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,593	2,593						118	118		
南越消防組合	21	21				807	807						21	21		
敦賀美方消防組合	0						0						0	0		
若狭消防組合	0						0						0	0		
計	158	129	5	4	20	7,729	8,496	78	0	61	628	349	253	4		92

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

令和3年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数				
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		その他 組織数 (エ)	人員 (ケ)	活動状況別組織数		
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)			消火活動 を行う (a)	消火活動は 行わないが、 炊き出し、連 絡、救護等 を行う (b)	(a)(b)は行 わず、予防の 啓蒙活動を 行っている (c)
消防本部名													
福井市	41	1,636	18	579	20	590	3	467			8		33
大野市	1	33			1	33					1		
勝山市	7	63	2	30	5	33					7		
永平寺町	1	17	1	17									1
嶺北消防組合	2	515	2	515									2
鯖江・丹生消防組合	22	1,074	7	154	12	388	3	532			12		10
南越消防組合	17	214	11	120	6	94						17	
敦賀美方消防組合	7	1,466	2	1,418	2	27	3	21			5		2
若狭消防組合	13	188			8	133	5	55			13		
計	111	5,206	43	2,833	54	1,298	14	1,075	0	0	46	19	46

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		平23	24	25	26	27	28	29	30	令元	2	
叙 勲		22	21	22	23	21	31	33	21	23	24	
藍 綬 褒 章				3	3	2				3	1	
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	1	2	2	2	1	1	1				
	永年勤続功労章	21	21	21	21	22	22	23	23	23	24	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬			1	1	1						
	消防団 地域 活動	消 防 団	1	1	1	1	1	1				
		事 業 所	1				1			1	4	
	少 年 消 防 ク ラ ブ	表 彰 旗			1							
		表 彰 楯	1	1		1	1	1	1	1	1	
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39
永年勤続精績章		155	152	154	177	132	168	149	154	137	120	
銀 杯		30 年 以 上										
		退職10～15年未満	70	67	71	73	49	55	67	58	68	47
感 謝 状		退 職 幹 部	22	22	33	16	49	23	20	17	19	20
		人 命 救 助 そ の 他										
	夫 人 表 彰	33	28	26	33	33	31	26	47	44	36	
竿 頭 綬			35	46	46	47	49	52	45	49		
特 別 功 勞 章												

## 第 7 章 消防教育訓練

### 1 消防学校の概要

#### (1) 沿革

昭和 3 4 年 7 月 1 6 日 福井市水越町に福井県消防学校設置  
 昭和 4 7 年 1 1 月 1 日 福井市合谷町へ移転  
 平成 8 年 4 月 1 日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

#### (2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3  
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡  
 イ 建物工作物等

#### 建物構造および規模

・ 敷地面積…………… 40,759.02㎡      ・ 建物延面積…………… 8,001.62㎡

名 称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	R C 造 3 階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 女性専用寮室(2室) 宿直室 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	S R C 造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 容量630m³	水深1.5m～3.0m 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m 模擬火災訓練家屋(可搬式プレハブ型模擬ハウス) 山岳救助訓練施設(25m×60m)
屋外訓練場		7,800㎡(120m×65m)	1周200mグラウンド

### 2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。  
 また、第3表のとおり消防大学校へ職員を派遣した。



第1表 令和2年度 消防本部別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消防本部										合計
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生	嶺北	永平寺	その他	
消防職員	初任教育(第55期)	初級幹部科	R2. 4. 2~9. 25	118	821	12	7	5	4		1	6	4	3	42	
		中級幹部科(第32期)	隔年実施のため実施なし													
		上級幹部科	R2. 12. 2~12. 10 中止	7	49	2	2	1	2	1	1	1	2	1	13	
	専科教育	警防科(第38期)	R2. 11. 12~11. 26	10	70	2	2	2	2	1	1	1	4	1	16	
		特殊災害科	隔年実施のため実施なし													
		予防査察科(第16期)	R3. 2. 3~2. 17	10	70	3	2	1	2	1	1	3	3	1	13	
		危険物科(第35期)	R3. 1. 6~1. 15	7	49	4	2	1	2	1	1	1	4	1	17	
		火災調査科	隔年実施のため実施なし													
	救急科	救助科(第44期)	R2. 10. 6~11. 6	23	161	2	2	1	2	1	1	1	4	1	15	
		救急科(第28期)	R3. 1. 26~3. 18	36	252	4	4	5	4	2	1	6	8	1	36	
		水難救助科 中止	R1. 7. 3~7. 19													
		特別講座等 (下記公開講座に記載)	中止													
	特別教育	操法指導員教育														
		起震車操作員教育(新規養成)		1	3	3	4	2	2	1	2	4	4	2	22	
	消防団員	小計		212	1,475	32	25	16	20	8	8	20	33	11	174	
初級幹部科			2	12	2	1	3	2	2	2	1	2	3	18		
一般・その他	指揮幹部科	現場指揮課程	R2. 11. 14~11. 15	2	14	2	2	3	1	2	2	2	1	17		
		分団指揮課程	R2. 12. 5~12. 6	2	10	2	2	3	1	2	1	2	2	2	17	
	消防団員指導員教育(日消)	小計	R2. 10. 31~11. 1	2	12	1	2	3	3	1	1	2	2	1	16	
		小計		8	48	7	7	12	7	7	6	7	8	7	68	
	自衛消防隊幹部教育	中止														
	女性防火クラブ員教育	中止														
	自主防災組織員教育(第1回)	中止														
	自主防災組織員教育(第2回)嶺南	中止														
	自主防災組織員教育(第3回)	中止														
	小計															
合計			220	1,523	39	32	28	27	15	14	27	41	18	242		
公開講座	中級幹部科	警防科	R2. 12. 7	1	4	6	5	4	2	2	3	4		28		
		危険物科	R2. 11. 19	1	4	7	5	5	2	2	4	2	4	2	32	
	救急科	危険物科	R3. 1. 12	1	4	7	4	4	5	2	3	3	4	1	33	
		救急科	R3. 3. 1	1	4	5	5	4	2	3	4	4	5	3	34	
公開講座合計		4	16	25	19	17	15	8	10	10	17	6	127			
総計			224	1,539	64	51	45	42	23	24	37	58	24	369		

第2表 令和2年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第55期)	42	118	821	520	42	217	42	
	幹部教育	初級幹部科							
		中級幹部科(第32期)	13	7	49	4	4	25	16
		上級幹部科							
	専科教育	警防科(第38期)	16	10	70	20	7	21	22
		特殊災害科							
		予防査察科(第16期)	13	10	70	10	4	53	3
		危険物科(第35期)	17	7	49	5	8	25	11
		火災調査科							
		救助科(第44期)	15	23	161	17	8	109	27
	特別教育	救急科(第28期)	36	36	252	14	4	64	170
		水難救助科							
操法指導員教育									
	起震車操作員教育(新規養成)	22	1	3	3				
	小計	174	212	1,475	593	77	514	291	
消防団員	初級幹部科	18	2	12	10			2	
	指揮幹部科								
		現場指揮課程	17	2	14	1		13	
		分団指揮課程	17	2	10	8	2		
	消防団指導員教育(日消)	16	2	12	11	1			
	小計	68	8	48	30	3	13	2	
一般・その他	自衛消防隊幹部教育								
	女性防火クラブ員教育								
	自主防災組織員教育								
	小計	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	242	220	1,523	623	80	527	293	
公開講座	中級幹部科	28	1	4				4	
	警防科	32	1	4				4	
	危険物科	33	1	4				4	
	救急科	34	1	4				4	
	公開講座合計	127	4	16	0	0	0	16	
	総合計	369	224	1,539	623	80	527	309	

第3表 令和2年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹 部 科	(第63期)	永平寺町消防
	(第64期)	福井市消防
警 防 科	1	嶺北消防
救 急 科	1	鯖江・丹生消防
予 防 科	1	嶺北消防
火 災 調 査 科	1	南越消防
新 任 教 官 科	1	勝山市消防
現 任 教 官 科	1	消防学校
航 空 隊 長 コ ー ス	1	防災航空事務所
合 計	9	